

### 3 ごみから資源へ (ごみ減量時代の始まり)

#### ①ものを捨てない生活

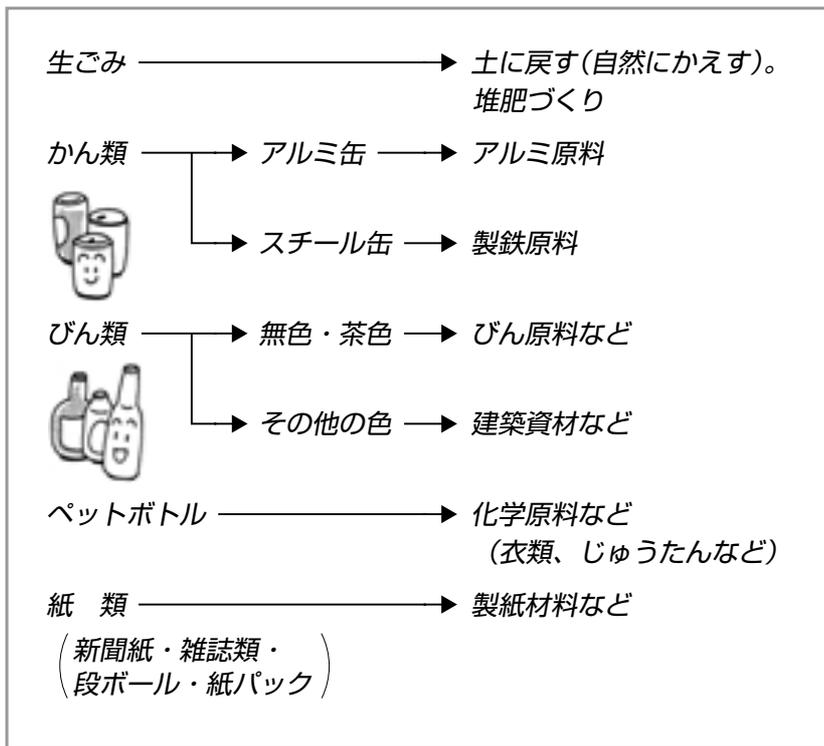
ごみとは、「不用になったもの」では、決してありません。

「自然にかえるもの」「再利用できるもの」は、ごみではありません。ごみを減らすことは、捨てるもの

を地球の自然にかえすこと。これは、もう一度、私たちが使えるようリサイクルに回すことです。もし、すべてのものが、そうなったら「ごみ」は、この世の中に存在しなくなります。

#### ②ごみをよみがえらせる

ごみを分別すれば、確実に減らすことができます。



そればかりか「資源」として、生まれ変わらせることができます。

### 4 私たちがごみ減らしの主役 (私たちにできること)

私たちが、ごみを減らす主役です。その役割を果たすための取組みを

#### ①リデュース (減量)

#### ②リユース (再利用)

#### ③リサイクル (再利用)

に沿って行い、ごみを出さない社会をつくっていきましょう。

#### ①リデュース

ごみを出さない  
ライフスタイル

ごみになるものを買わない、家庭に持ち込まない、使わない。

使うときには、修理などしながら長時間使う。

ごみとして出すときには、量をなるべく少なくしてから出す。

#### 【例】

○商品の過剰包装を断る。  
○バラ売りや盛り売りを選ぶべ  
るなら、トレーにのったものは  
避ける。

○なるべく長く使えて、飽きの  
こない製品をじっくり選  
んで買うようにする。

○デパートの紙袋はやたらに  
もらわない。

○冷蔵庫での保存は、ラップ  
で包まずふた付き容器を用  
いる。

○使い捨ての皿やコップ、ス  
プーンやフォークの使用は  
控える。

○ノートやボールペンなどは  
最後まで使いきる。

○調理方法を工夫し、生ごみ  
がなるべく出ないようにす  
る。

○生ごみは水切りしてから出  
すほか、コンポストなどに  
よる減量化など、リサイク  
ルに努める。

○を選ぶ。

○シャンプーや洗剤は詰め替  
え用を選ぶ。

○裏が白いチラシは、メモ用  
紙に利用する。

○古くなった衣類、タオルや  
シーツなどの古布は、雑巾  
やぼろきれとして掃除の時  
などに利用する。

○ビールびん、一升びんなど、  
洗浄して再利用できるびん  
は、販売店に返す。

○ビールびん、一升びんなど、  
洗浄して再利用できるびん  
は、販売店に返す。